

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

I 学校の現状と課題

平成30年度入学生から1学級40人の募集となっており、学校の小規模化が進んでいる。令和2年3月に雄勝高等学校として最後の卒業生を送り出し41年間の長い歴史に幕を閉じることになり、同年4月からは湯沢翔北高等学校雄勝校（雄勝キャンパス）となる。校名は変わるが生徒も学び舎もこの地に残ることから「地域に根ざした学校づくり」という学校の方向性を継承し、地域を愛し、地域から学び、地域に貢献する生徒の輩出に努めていく。生徒数の減少により活動の幅は制約を受けることになるが、これまで培ってきた雄勝高等学校の歴史や伝統を引き継ぎ、学校を取り巻く地域の人々の協力を得ながら、地域と共に歩む新生雄勝校の活動の質をいかに高めていくかが本校の課題である。

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校が位置する湯沢雄勝地区は急速な少子高齢化が進行しており、人口減少とりわけ年少人口の大幅な減少が見込まれている。このことは中学校卒業者数の減少に直結しており、地区内の高等学校の学級減や地域校化を加速化させる要因ともなっている。また人口の自然減に加えて人口流出による社会減も進んでおり、地域内の労働力不足が社会問題となっており、若者の地元定着が今後も大きな課題となる。このような状況の中で、本校はフットワークが軽く臨機応変な対応が可能であるなど小規模校ならではのメリットを活かし、地域の活性化に向けての活動や地域を支える人材の輩出など、地域の期待に応える役割を担うことになる。

III 目指す方向性や学校像（基本理念）

新たな普通科高校の在り方を模索しつつ、主体的に努力することに喜びを見いだし、地域の活性化に貢献できる社会人の育成。

校訓 自啓自発（学問は自ら志し、ほとぼしる情熱を持たねばならぬ）

教育方針（育てたい人間像）

自己を啓発する意欲と努力を惜しまず、世界や地域を支える人間
互いに敬愛し、人を思いやる豊かな心と感性をもつ人間
心身を鍛練し、学芸を磨き、豊かな想像力をもつ人間
礼節をわきまえ未来へ挑戦する気概と覚悟をもつ人間

重点目標（育てたい能力や資質）

深く自らを理解し、自尊感情をもち、感動する心、感謝する心

①「真善美」と「誠」による人間力

（真善美とは人間が理想とする行動規範のことで、これに真心を意味する誠が加わることでより理想的な人間が形づくられる）

②「仁徳義礼」による良識

③「対話と尊厳」による人間関係構築力と進路意識

④自主的活動を通して高める「自尊感情」

IV 5年間で達成を目指す具体的目標

〔在学中〕

- ・ 皆勤および精勤者 50%以上
- ・ 地域活動による単位取得(学修C) 100%

〔卒業時〕

- ・ 地元就職率 80%以上
- ・ 湯沢翔北高校専攻科介護福祉科への進学者 5名以上

〔卒業後〕

- ・ 就職者の早期離職率 5%以内

具体的な取組等

学習指導

- ・ 生徒のつぶやきを大切にする授業によって、基礎・基本の定着と思考力の育成を図る。
- ・ 地域など外部の教育資源を積極的に活用する。
- ・ 家庭学習の成果を評価し、学習への意欲を喚起する。
- ・ 読書活動のさらなる推進と図書館の利活用を目指す。
- ・ 学校設定教科「地域」並びに「総合的な探究の時間」を活用し、校外の教育機関等での体験学習の機会を増やし、社会人や他校の生徒との交流により感動体験の充実を図る。

進路指導

- ・ 生徒の内面を聞き出す個別面談や個に応じた補習や添削指導を充実する。
- ・ 生徒の主体的なインターンシップを充実する。
- ・ 資格取得を奨励する。
- ・ 地元企業等との連携を深め、長期休業中に学校を会場にした就業体験の機会を増やし、本校生徒をアピールする。

生活指導

- ・ 規範意識を育成し、ぶれない指導を徹底する。
- ・ 時を守り、礼を失せず、場を清める指導を徹底する。

- ・学年部を中心とする教職員と保護者の連携を図る。

特別活動

- ・ボランティア活動・体験活動の意義を考えさせ、主体的に参加する生徒を育成する。
- ・地域のNPO法人や町内会等の活動と連携して、部活動を充実させ、感動体験の機会を増やす。

秋田県立湯沢翔北高等学校雄勝校 ～雄勝高校の伝統を継承する地域の学校～

基本理念

主体的に努力することに喜びを見だし、
地域の活性化に貢献できる社会人の育成

